



北本市立南小学校だより

わかみどり

URL <http://minami.city.kitamoto.lg.jp>

令和8年3月号

〒364-0032

北本市緑3丁目387番地

TEL 048-591-4709

FAX 048-591-5802

学校教育目標 **みんな なかよく みどりの学校** 『かしこく げんきな 南っ子』

「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」

校長 酒井 一昭

「一月往ぬる 二月逃げる 三月去る」といいます。正月から3月まではなにかと行事が多く、月日が足早に過ぎてしまうことをいったことわざです。

そうしているうちに、あっという間に3月を迎えました。そして、3月は1年間の「まとめの月」です。子どもたちの成長には、一人一人の頑張りや努力があったからこそ、そして、それを支えてくださったたくさんの人の励ましがあったからこそだと思います。ぜひ、ご家庭でも、卒業や進級を前に1年間を振り返り、お子様の成長と一緒に喜んでください。たくさん褒めてあげてください。

また、子どもたちには、一日一日を大切に、クラスの友だちや先生と、多くの思い出をつくってほしいと思います。最後の時間をクラス・学年・学校の仲間とともに大切に過ごしてほしいと思います。

3月は「別れの月」でもあります。尾道三部作と言われる「転校生」「時をかける少女」「さみしんぼう」など、青春の痛みや瑞々しさ、ノスタルジーを、尾道の坂道や路地と共に描いた映画作品を手掛けたことで知られる、映画監督の故・大林宣彦さんをご存じでしょうか。大林監督が映画の中でいつも使う『別れの言葉』は、「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」だそうです。



「ありがとう」とは、二人を出会わせてくれた運命と、ぼくに会ってくれたあなたへの感謝。

「ごめんなさい」はそのあなたにもらったものの大きさに対して、僕があげることでできなかった多くの事についての申し訳なさ。

そして最後には、礼儀正しく「さようなら」。

人は「ありがとう」の数だけ賢くなり、

「ごめんなさい」の数だけ優しくなり、

「さようなら」の数だけ愛を知るのだそうです。



南小学校の教育目標は「みんな なかよく みどりの学校『かしこく げんきな 南っ子』」です。この1年間、教室や校庭では、毎日のように「わかった」「できた」とともに「まだわからない」「もう少し」が響き渡りました。行事や遊びの中では、時にはケンカやトラブルもありましたが、たくさんの「ありがとう」とともに「ごめんなさい」が聞こえてきました。

私たちはとにかく成功体験に目が行きがちですが、実は失敗の中から学ぶこともあります。むしろ、その方が多いのかもしれませんが。

学校では、価値観や性格が違うたくさんの子どもたちと共に活動します。そのような環境や集団での生活を通し、子どもたちは「ありがとう」の数だけ賢くなり、「ごめんなさい」の数だけ優しくなったと思います。そして、3月はたくさんの「さようなら」もあります。



子どもたちは、その数だけの人としての成長をしていくのだと思います。3月24日には6年生が卒業します。卒業生と保護者の皆様にご心からお祝い申し上げますとともに、子どもたちへの指導・支援に関わってくださった多くの方々へ厚くお礼申し上げます。

また、他の学年の子どもたちも1年間の総まとめに取り組んでおります。進学・進級への大切な残りの日々、変わらぬご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。